

一般社団法人つくば青年会議所 2016年度 理事長所信

第34代理事長 齊藤 悠介

【～はじめに～】

つくばが好きですか。つくば青年会議所が好きですか。

私は、つくばが好きで故郷に戻り住み暮らし、つくば青年会議所が好きで今こうして明るい豊かな社会の実現に向けて運動をさせて頂いております。

つくば市は豊かな自然と豊かな土壌を擁し、2005年のつくばエクスプレス開通に伴い、TX沿線は目覚ましい程の街の発展を遂げてきました。つくば青年会議所もつくば市の発展と共に成長をすることができております。特につくば市の人口は年々増え続け、つくば青年会議所の会員数も増え続けております。しかし、私たちの街は急速に発展をしている一方で、私たちは地域間格差やコミュニケーションの不足による閉塞感漂う現状に不安を覚えることも大きくなっているのが現実ではないでしょうか。この街に住み暮らす私たちは今、この現実を受け止め、見つめなおし、変化をもたらす時にきているのではないのでしょうか。だからこそ、声を上げ行動に移すことが今必要不可欠であると考えます。私たち青年会議所は意識を変革し率先して行動する団体であります。私たちがやらなければ誰がやる。40歳までの青年が集まる団体だからこそ、40歳までの限りある時間だからこそ共に声をあげ動こうではありませんか。

【交流から生まれる】

近年、つくば青年会議所は多くの新入会員を迎え入れる事ができました。入会され数年の皆さんは、「誰のために、何のために」運動をしているのだろうと感じ活動をされているのではないのでしょうか。そして、早く青年会議所を知ろうと一生懸命に活動されているのではないのでしょうか。私も入会当初はこの様に自問自答しながら活動しておりました。私が入会する前に青年会議所を訪れた時、先輩の皆様方に積極的に名刺交換をしていただき交流を図っていただいた事が思い出されます。この多くの交流があったからこそ、たくさんの仲間を作る事が出来て、共に成長することが出来たのではないかと感じております。入会の動機は十人十色、人それぞれ異なります。動機は様々でありながら、希望や期待を持って入会された事と思います。しかし、経歴を重ねるごとに希望や期待が現実へと変わり、自らが率先して行動すること（交流すること）が忘れられている様に感じます。自らが率先して交流を行い同じ目標に動きつくば青年会議所の魅力向上を図ること、私たち会員が魅力溢れる人間になることが重要だと考えます。本年度は、会員の皆さんが積極的に声を掛け交流を図り、仲間作りをしたいと考えます。誰でも打ち解け易いつくば青年会議所の魅力を最大限に生かして、未来のつくばを考えあえる仲間の拡大に取り組んで参り

ます。また、研修事業にも取り組みます。会員一人ひとりが魅力溢れる会員であるならば、そして魅力溢れる青年会議所であるならば、何処からでも必要とされる人間となり、何処からでも必要とされる団体へと繋がっていきます。信頼を得ることが人の成長であり団体組織としての成長であります。私たちメンバーの魅力こそが今まさに必要不可欠だと感じております。また、つくば青年会議所と筑波学院大学は連携協定を2014年に締結致しました。研修事業の一環としてOCP（オフキャンパスプログラム）に参加をして、「奉仕」「修練」「友情」の下、参加する皆様方の研修、互いの交流を図れる場と致します。共に過ごす青年期、地域に必要とされる魅力的な人財、魅力的な団体へと昇華するために学んで参りましょう。

【街づくりから生まれる】

「The 祭 in TSUKUBA」ねぶたパレードは、今年で19回目を迎えます。この19年の歴史の中で変わらないものは沿道を埋め尽くす来場者の笑顔やパレードに参加をして楽しんで盛り上げる演者の姿、そして雄大で迫力あるねぶたを見た時の喜びであります。まつりつくばの中で一番の輝きを放つ場所に毎年の様に来場者の皆様は期待をしておられます。近年、ねぶたパレードは関係諸団体の皆様方の御理解・御尽力を賜り進化を遂げる事が出来ました。しかしながら、年数を重ねる事によりこのパレードを開催することの目的が見失われそうになってきている事も実感しております。「誰のために、何のために」このパレードを開催させて頂いているのかという明確なビジョンを本年度は強く打ち出してパレードを開催して参ります。パレード会場を多くの演者が参加し、楽しんでる演者を見て来場者の笑顔が輝く祭りへ。さらに多くの関係諸団体と連携を密にし、将来のパレードのあり方を模索していかなければなりません。「The 祭 in TSUKUBA」ねぶたパレードだから出来る魅力を最大限に引き出し、笑顔輝くパレードの推進を行って参りましょう。

つくば市の観光資源は何かと考えると真っ先につくば市の北部にそびえる筑波山が頭に浮かびます。TX開通直後、筑波山を訪れる登山客は増えて参りました。首都圏からのアクセスが良い事、そして登山をする人にとって筑波山が877mと登りやすい標高であることが理由であると考えられます。しかしながら、TX開通後10年が経過し登山客、観光客の伸び悩みが起きている事を知りました。筑波山周辺地域の観光促進が今まさに必要となってきております。本年で8回目を迎える「ツール・ド・つくば」は健康増進や環境保全、そして地域の観光促進を目的に開催してきました。2019年には、このつくばの地で「第74回国民体育大会」の自転車ロードレースの開催が決定しております。このつくばの地で自転車レースを始めた先駆けとして誇りを持ち、地域力を向上していかなければなりません。「環境モデル都市つくば」と「自転車のまちつくば」でもある私たちの街つくばを広く伝播していく大会とし、そして観光促進だけでなく筑波山周辺地域の活性化に繋がる大会として本年は開催させて頂きます。万葉集にも詠われ、古より愛されてきた筑波山。自然や歴史、文化、知財と多様な資源がある私たちの地域の宝であります。この魅

力的な宝を生かし地域の活性化に取り組んで参ります。

【人づくりから生まれる】

つくば市きれいなまちづくり実行委員会に参画しているつくば青年会議所は近年、つくば市の清掃活動や落書き消し、そして不法投棄の撤去活動等に積極的に力を注いできました。しかしながら、この活動のゴールが見えません。「いつになったら街がきれいになるのだろう」と考えてしまいます。未来のつくばを考えた時に、継続してこの運動を展開していく必要があります。私はこの運動を通して『ゴミのポイ捨てや不法投棄をする人をなくしたい』『ゴミを拾う習慣を身に付けていただきたい』『落書きをされない街づくりをしていきたい』と思っております。これらを実現するためには、多くの地域住民を巻き込み運動展開をする必要があります。住まう人が意識変革をしていかなければならないと考えます。自分たちが住む街は自分たちの手で。子どもたちが安心して暮らせる街にするためにも積極果敢に取り組んでいきます。また、筑波学院大学のOCP（オフキャンパスプログラム）の学生様を受け入れ、「奉仕」「修練」「友情」の下、参加する皆さま方の研修、互いの交流を図りながら環境問題に互いに取り組んで参ります。つくば市の冬の風物詩に定着をした環境に配慮したイルミネーション事業の「つくば光の森」は本年度で12回目を迎えます。本事業は環境への配慮に重きを置き、多くの団体と連携を図りながら、つくば駅周辺の賑わいを創出し素敵な冬の街並みを創って参りました。本年度は、「つくば光の森」のあるべき姿を検証しながら今まで以上に何度でも「つくば光の森」に行きたいと思える事業へと昇華させ、更なる認知度向上に努め取り組んで参ります。

現代の急激な社会変化の中で次世代を担う子どもたちは、豊かさと引き換えに利己主義的な価値観を持つようになってきていると感じております。人への関心が薄れ、友達と遊ぶ事より室内でゲームをして遊ぶ。お年寄りへ手を差し伸べることをするよりは自分が夢中になっている事をする。困っている人がいれば、見て見ぬふりをする。そんな人と人との繋がりが希薄化している現代であります。近い将来、会話がなくなり電子的な会話となり、話をする事ができなくなる子どもたちが増えてくるのではないかと考えてしまいます。子どもたちが自ら率先して会話が出来る環境作り、他を思いやることで言葉を発する環境作りが必要ではないでしょうか。教育とは学力だけではない。夢や感動をもつ豊かな心の教育に本年度は取り組んで参ります。次世代を担う子どもたちが優しく、しなやかな大人になる事を夢見て・・・。

【組織づくりから生まれる】

つくば青年会議所は明るい豊かな社会の実現に向けて多くの公益的事業を展開しております。この運動展開を自己満足で終わらせないために、多くの皆様に告知し周知徹底を行っていく必要があります。ホームページやメールマガジン、SNSを利用して多くの皆様に青年会議所の運動や事業、魅力を発信して参ります。そして紙面媒体として広報誌を発

行し手に取って読んで頂き魅力の発信が出来る様にして参ります。また、つくば青年会議所はLOMの枠を超え出向先で頑張っている会員が増え、誇らしいLOMになってきております。しかしながら情報が薄く、自らが知ろうとしない限り活躍している情報が伝わってきません。強い組織となるために出向先で活躍をされている会員の情報を全メンバーが共有しあえる組織とならなければなりません。『いつ・どこで・だれが・活躍しているのか』が分かる様にスケジューラーを本年は配信致します。これによりつくば青年会議所は家族であるというように讚えあえる組織づくりを行って参ります。そして、ASPAC誘致を総会決議しているLOMとして第66回JCI ASPAC 高雄大会にブースを出展し、国際都市つくばの魅力を発信していきます。さらに、永年同じ想いを共有し同じ志をもって運動展開をして下さった卒業生の皆様に敬意を表し、卒業生が主役となる事業を開催致します。

つくば青年会議所は、一般社団法人格を取得し4年目を迎える事となりました。しかしながら将来、公益社団法人格を取得する事を踏まえて、公益事業比率50%を上回る健全な財務管理の維持を行なっていく必要があります。財務運営幹事会議を毎月開催し、会計の適正運用の審査は勿論のこと、費用対効果や公益性の審査も行っていきます。そしてこの財務運営幹事会議は成長をする場でなくてはなりません。各委員会の問題提起を行い円滑な委員会運営を行う意見交換の場としても活用して参ります。各運営幹事が密に連携を取り出席率の向上、各種大会並び諸会議への参加推進、出向者への支援を行い、財務運営幹事会議が将来を見据えた会議体となる様に運営を行って参ります。

私たちの運動を精度の高い事業へとするためには総会、理事会等を円滑に運営する必要があります。効率的な運営をするためには、事前の情報収集が重要となってきます。事前準備をしっかりと行い、つくば青年会議所の運動が最適であり且つ最大限の力を発揮できる様に取り組んで参ります。

【結びに】

現代を生きる青年として、今、私たちに何が出来るだろうか。

私たちは青年経済人として、そして、責任世代として未来を生きる全ての人に向けてきっかけを作り、変化をもたらし、その時代に生きた証を残していかなければなりません。思い切ってやり遂げようよ。失敗したっていいじゃないか、それが糧になるのだから。

「誰のために、何のために」やっているのか。本質は見極め歩むことから始まる。

限りある時間のこの青年期、今しかできないこと、今だからこそできること。

だから今を全うしようではありませんか。